

新しい白井をつくる会

第3号 2006年夏
 発行責任者 影山 廣輔
 TEL 090-8848-3200
 E-Mail sinsiroi@s6.dion.ne.jp
 http://www.k5.dion.ne.jp/~siroi/

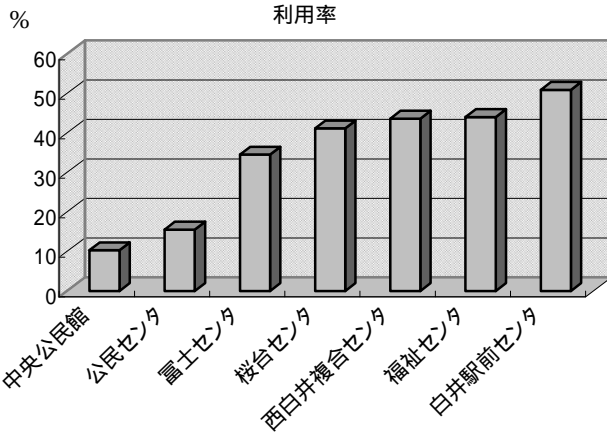
税金の有効な使い道は？

市は、第1地区(中央公民館付近)に5億4千万円でコミュニティセンター(コミセン)を新築しようとしています。

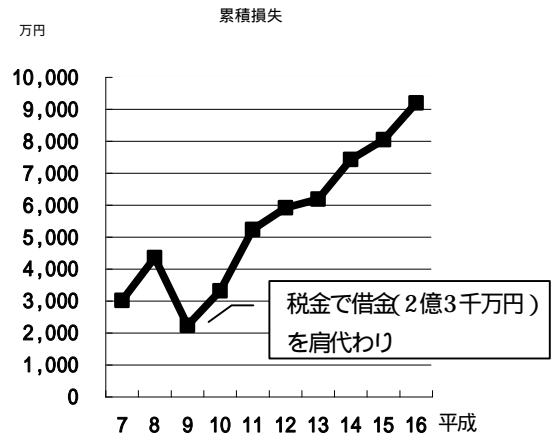
市は、赤字の続く梨ブランド事業に税金投入を続けています。

- 1) 第1地区には既に中央公民館があります。
- 2) 中央公民館の利用率は10%で市内最低。

(最高は白井駅前センターで50%)



- 1) 累積赤字額は1億7千万円。
(会計の誤り訂正後、H16年度)
- 2) 市、県、国が計7億円投じても赤字。



議員さん達はどんなふうを考えているのかしら？

下の様な回答があったよ。ひとりずつニュアンスが違うからチラシの内側も読んでほしいな。



コミセンと梨ブランドについての議員の意見

コミセン建築と梨ブランドの問題についての意見、また重点活動内容について市議会議員にお聞きしました。その結果をまとめたのが下の表です(敬称略、順不同)。一人一人の回答は、チラシの内側をご覧ください。

		梨ブランド事業		
		事業停止	事業継続	様子見、分類不能
コ ミ セ ン	既存施設を活用	山本、柴田、福井 鳥飼、幸正		
	新築 する	4億円未満	江田	多田、岩田
		4億円以上		
	様子見、分類不能	松井、神田 竹内、薄井	長野、矢野、素田	中村、石田、鈴木、谷嶋 古沢、伊藤、秋本、永瀬

アンケート未回答・・・亀川

議会での質問回数、住民投票実施への賛成/反対 (裏面に)

- ・議会での一般質問の回数を議員別に一覧表にまとめました。(議員の活動を知る参考になると考えます。)
- ・住民投票を実施することに賛成した議員、反対した議員を示しました。
(2年前に印西市等と合併の賛否についての住民投票をしましたが、議会で賛成多数となり、投票が実施されました。)

議員の意見&活動内容 アンケート結果公表

議員がどのような意見を持っているのか、どのような活動をしているのかを知りたいと思い、下記のアンケートをお願いしました。

【質問1】 市は第一地区に**コミュニティセンター**を建てようとしています。新築が望ましいとお考えですか。予算はどれぐらいが適当でしょうか。選択肢の中から一つを選び、その理由を50字以内でお書きください。なお、建設場所が特定されておらず、市有地・購入・借地で差がありますので、新築金額は土地代などを含むトータル予算額でお答えください。
(参考：建設準備委員会では印西市永治プラザの4億円の例が示されました。)

- | | |
|----------------------|-----------------------------|
| A：新築（予算は8億円以上） | D：新築はせず既存施設を有効活用（補修や規則改正など） |
| B：新築（予算は4億円以上～8億円未満） | E：現状のまま |
| C：新築（予算は4億円未満） | F：その他（30字以内） |

【質問2】 **梨ブランデー会社は赤字が続いています**。これからも継続するべきか否かどう考えますか。選択肢の中から一つを選び、その理由や方策を50字以内でお書きください。

- | | |
|------------------------------|---|
| A：事業を継続する。 | A-1. 従来どおりの経営で、事業を継続する。 |
| | A-2. お金をかけずに経営改善を図り、事業を継続する。 |
| | A-3. さらにお金をかけ（経営のプロを1000万円を採用するなど）し、事業を継続する |
| | A-4. その他（30字以内） |
| B：事業を停止する。 | B-1. 即事業を停止し、在庫の原酒は市民に公平に無償譲渡する。 |
| | B-2. 在庫の原酒を一定期間内に会社がすべて有償で処分してから事業を停止する。 |
| | B-3. 在庫の原酒込みで、梨ブランデー会社を他の企業に有償譲渡する。 |
| | B-4. その他（30字以内） |
| C：既に17年経過したが、さらに1年～2年様子を見たい。 | |

【質問3】 最近、もっとも力を入れている活動は何でしょうか。50字以内でお答えください。

【氏名】 山本 武

【コミセン】D 新築はせず既存施設を有効活用
(補修や規則改正など)

【理由】 義務教育施設等は市の財産です。既存施設を有効活用する方向で住民要望を解決していくべきです。

【梨ブランデー】B-2 在庫の原酒を一定期間内に会社がすべて有償で処分してから事業を停止する

【理由】 B-3の方法も考えられますが、そもそも粉飾決算の疑いが濃厚であり、この問題の洗い出しが先決です。

【活動】 環境汚染対策。人権を守ること。戦争をしない国にするための草の根運動。公正・公平な社会を作るための活動

【氏名】 岩田 典之

【コミセン】C 新築（予算は4億円未満）

【理由】 現在の中央公民館は老朽化が著しく補修では対応できない。予定地は反対！市有地を活用し、規模を縮小。

【梨ブランデー】A-4 酒造免許を返上して製造中止。販売のみに専念して黒字化を図る。

【理由】 原酒は約40000リットルあり昨年の消費量ペースで30年分以上はある。その後の製造は酒造会社に委託。

【活動】 高齢化が進み介護予防の一環から認知症予防の健康教室を白井市ボランティア連絡協議会主催で7月から開講。

【氏名】 松井 節男

【コミセン】F 財政が実際に好転したのを確認するまでは、建設すべきでない

【理由】 貯金を当てにしなければ収支のバランスがとれない状況下のため、緊急を要しない建設投資は行方べきでない。

【梨ブランデー】B-1 即事業を停止し、在庫の原酒は市民に公平に無償譲渡する

【理由】 原酒は売却しても大幅に簿価を割る。ならば、一番経済的損失を被った白井市民全員に無償で提供したい。

【活動】 議会での諸活動や、自治会、地区社会福祉協議会などボランティア活動に、一様に注力しています。

【氏名】 柴田 圭子

【コミセン】D 新築はせず既存施設を有効活用
(補修や規則改正など)

【理由】 箱物は作れば永久に維持管理費がかかる。ニーズの把握を行った上で既存施設の有効活用をすればいいのでは。

【梨ブランデー】B-4 事業は停止し、清算方法こそ検討委員会で最善の方策を模索すべき

【理由】 操業以来赤字経営で既に7億円近い税金が投入されているにも拘らず毎年1千万円以上の累積赤字が増えている

【活動】 千葉ニュータウン事業が見直されるので、その把握と周知。防犯活動など地域の輪づくり。

【氏名】 多田 育民

【コミセン】C 新築（予算は4億円未満）

【理由】 1. 土地は購入しない。2. 利用率が低いので、それに見合う建物とすれば、この程度でできる筈。

【梨ブランデー】A-3 さらにお金をかけ（経営のプロを1000万円を採用するなど）し、事業を継続する。

【理由】 1. 赤字の原因は責任者不在の殿様商売にある。
2. 常勤の役員を公募し全権を委任する。現役員は全員辞任。

【活動】 1. 監査制度の確立 2. 梨ブランデー事業再建 3. 議員定数削減 4. 成田新高速鉄道、北千葉道路の予定内実現

【氏名】 しらい21(中村 繁太郎、石田 信昭、鈴木 二三男、谷嶋 稔、古沢 由紀子、伊藤 仁、秋本 享志)

(会派代表より回答がありました)

【コミセン】F 建設準備検討委員会の会議が進んでおり、この結果を尊重したい。

【理由】 --- 記述無し ---

【梨ブランデー】C 既に17年経過したが、さらに1年～2年様子を見たい

【理由】 市長は、検討委員会を設置し事業の存廃も含め3年をめどに検討すると表明している。その結論を待ちたい

【活動】 --- 記述無し ---

【氏名】 永瀬 洋子

【コミセン】F 新築が必要な部分と既存施設活用との組合せなど

【理由】 建設は基本計画に位置づけられました。新築必要な部分と既存施設活用との組合せ等の方策もあると考えます。

【梨ブランド】C 既に17年経過したが、さらに1年～2年様子を見たい

【理由】 事業停止も考えられますが、市が検討委員会を設置しようとしているので、とりあえず検討結果に期待します。

【活動】環境問題、市民参加のまちづくり、人権としての男女平等と福祉。言い古されていますが、行財政改革です。

【氏名】 薄井 祥子

【コミセン】F 新築・増改築を問わず、市民要望を踏まえた最も合理的な施設と金額

【理由】 議会、市民とも長期に渡って計画を承認してきたと言え基本的に賛成ですが、透明性を欠く建設には反対です。

【梨ブランド】B-4 清算方法について各種検討し、最も有利で合理的な措置を選択する

【理由】 17年間継続赤字。事業縮小。事業会計に現れない市債による人件費等負担等、黒字転換はあり得ません。

【活動】入札契役の抜本改革など市政に潜んでいる真のムダをなくして市民負担を軽減し、福祉の増進に努めています。

【氏名】 竹内 陽子

【コミセン】F 市役所敷地内に建てる

【理由】 庁舎と保健福祉センターをつなぐ中間にコミュニティセンターを建設し、市民の利便性を図る

【梨ブランド】B-3 在庫の原酒込みで、梨ブランド会社を他の企業に有償譲渡する

【理由】 ブランデー使用の加工品製造会社専属ブランデー工場として再建（民間）。

【活動】地方分権に向け、自治体の自立のための創意工夫。危機管理（防災等）体制。NPO法人（福祉）での活動他

【氏名】 鳥飼 博志

【コミセン】D 新築はせず既存施設を有効活用（補修や規則改正など）

【理由】 市が財政健全化を図るというなら、まだ使える現在の公民館を必要に応じて補修して有効に利用すべきである。

【梨ブランド】B-3 在庫の原酒込みで、梨ブランド会社を他の企業に有償譲渡する

【理由】 議会で提言してきたが、市は聞く耳なく、農家にメリットなし。ふるさと産品の梨は違う方法でPRする。

【活動】子どもの問題・寺子屋「メダカの学校」立ち上げ中。法律生活相談・市民の暮らしを守るのが日本共産党。

【氏名】 公明クラブ（長野紘一、矢野富子、素田久美子）
（会派として連名で回答がありました）

【コミセン】F 既存の施設が利用可能なら改築。不可なら新築も選択肢の一つ。

【理由】 --- 記述無し ---

【梨ブランド】A-4 内部努力を十分に検討すること

【理由】 景気予測、営業方法、市場調査、消費者の本物志向への認識度、価格体系など内部努力を十分に検討すること。

【活動】 --- 記述無し ---

【氏名】 福井 みち子

【コミセン】D 新築はせず既存施設を有効活用（補修や規則改正など）

【理由】 現在の利用率なら既存施設の修繕、ウェルプラットや中学校施設利用でよい。厳しい財政の今優先順位は低い。

【梨ブランド】B-4 即事業を停止し原酒を酒造会社に譲渡、建物等は別途利用を考える

【理由】 累積赤字発生状況から見てすでに改善が図れる状態に無い。B-3は現実性が無い。

【活動】高齢者（団塊の世代の高齢化を含め）の健康増進、介護。地域コミュニティづくり。子育て支援。平和活動。

【氏名】 神田 悦男

【コミセン】F 設備先行のまちづくりをやめる。

【理由】 福祉のまち、環境のまち等まちづくりの方針を固め、市民参画で必要設備や市の財政負担の限度を決めるべき。

【梨ブランド】B-2 在庫の原酒を一定期間内に会社がすべて有償で処分してから事業を停止する。

【理由】 責任の所在が不明瞭なことがブランド会社の問題点。在庫原酒の処分方法、主体を現社か新会社かを定める。

【活動】地下水河川水の水質や森林を保全する活動。生活者の立場で、お互い助け合える社会をきずく活動の推進。

【氏名】 幸正 純治

【コミセン】D 新築はせず既存施設を有効活用（補修や規則改正など）

【理由】 本当に必要かどうか市民に聞くべき。必要となっても、市民による「建設委員会」を設け市民の手で作りたい。

【梨ブランド】B-3 在庫の原酒込みで、梨ブランド会社を他の企業に有償譲渡する

【理由】 「ふるさと産品」は残したい。将来多大な設備投資が必要になる。製造の委託発注等で独立経営を実現したい。

【活動】行政経費の圧縮と税増収への施策展開。高齢化社会への対応と若い世代にとっての魅力的なまちづくりです。

【氏名】 江田 健治

【コミセン】C 新築（予算は4億円未満）

【理由】 公有地を活用。NT地区の施設整備をNT地区入居以前の基金（旧住民積立分）を取崩して進めた経緯もある。

【梨ブランド】B-3 在庫の原酒込みで、梨ブランド会社を他の企業に有償譲渡する

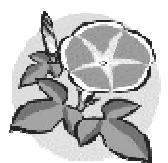
【理由】 --- 記述無し ---

【活動】市民の皆さんが幸福になるよう公共公益福祉充実に向け努力しています。1.待機児童ゼロ 2.介護福祉充実

【氏名】 亀川 清人

--- お返事は頂きましたが、アンケートは未回答でした。 ---

議員の皆様、ご回答ありがとうございました。



白井市議会において一般質問をしたか / しなかったか

氏名	会派名	H15	H15	H15	H16	H16	H16	H16	H17	H17	H17	H17	H17	H18	割合 [%]	住民投票 条例	H15年 得票数
		6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月			
石田 信昭	しろい21														23	反対	801
鈴木 二三男															8	反対	1107
中村 繁太郎															38	反対	776
谷嶋 稔															23	反対	1054
古沢 由紀子															77	反対	688
伊藤 仁															62	反対	946
秋本 享志															23	反対	982
鳥飼 博志	日本共産党														100	賛成	989
薄井 祥子															69	賛成	848
矢野 富子	公明クラブ	(議長)												80	(議長)	1010	
長野 紘一															100	反対	1012
素田 久美子															100	反対	1007
柴田 圭子	市民の声														100	賛成	1275
松井 節男															100	賛成	925
福井 みち子															100	賛成	525
岩田 典之	結ゆう SHIROI														77	賛成	963
亀川 清人															31	賛成	482
幸正 純治															69	賛成	715
神田 悦男	民主党														100	賛成	472
山本 武															92	賛成	619
江田 健治	(議長の為無会派)	(議長)												25	賛成	1327	
竹内 陽子	会派未来														100	賛成	651
多田 育民	まちづくり														92	賛成	771
永瀬 洋子	自治とまちづくり														100	反対	705

・・・その議会で一般質問をした。

・・・その議会で一般質問をしなかった。

住民投票条例の欄・・・合併の是非を問う住民投票の実施(条例)に賛成した / 反対した。

H15年得票数の欄・・・前回平成15年の選挙のときの得票数を示します(小数点切捨て)。

[必ずしも得票数の多い議員が質問を多くしている訳では無いことも分ります。]

【コミセン建設準備委員会 第6回会議傍聴記 : 5月18日 欠席委員・20名中6名】

今回の傍聴で感じたことは、市行政サイドの強引な態度がますます強まったなということです。

もともと市は「住民参加である委員会の結論を尊重する」と言っていました。しかし、今回は千円単位の細かい総事業費(5億4456万4千円)を示しました。さらに、「平成18年10月まで施設内容・規模、用地選定をとりまとめた。」

と、委員会に行政の都合を押し付ける様が露骨になってきました。

委員の一人は不信感をあらわに「まだ、委員会でも何も決まっていないうちにこんなことが頭越しに決められているなんて、一体何のための委員会なのか。都合の悪い所だけ委員会に押し付けているのではないか」といった声をあげていました。

市は、建設準備委員会を「民主的な住民参加」で運営して欲しいと思います。